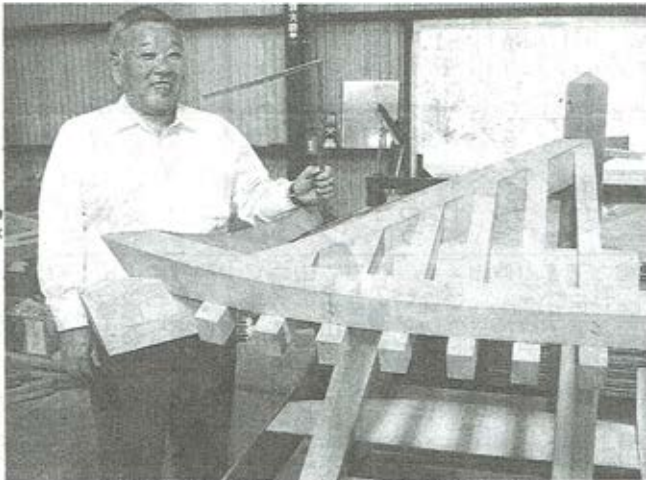


三次支局 0824(63)5155 FAX(65)0088  
 庄原支局 0824(72)0149 FAX(75)0029  
 安芸高田支局 0826(42)0063 FAX(47)0020  
 東城ステーション 0847(2)0560

## 寺社保存に力「森の名手」

三次市三良坂町の宮大工徳岡秋雄さん(58)が、国土緑化推進機構(東京)の認定する本年度の「森の名手・名人」に選ばれた。38年間にわたって寺社建築に携わり、貴重な文化財の保存に貢献したことが評価された。5日、認定証を受けた徳岡さんは「宮大工という伝統技能への関心が地元の若者の間で高まれば」と期待する。(城戸良彰)

### 次世代育成へ 従業員研修も



寺院の模型を前に認定を喜ぶ徳岡さん

内唯一の宮大工棟梁という。次世代の育成にも心を砕く。自身が社長を務める工務店では、13人の従業員向けに毎週研修を開く。「一流になるには時代に適した建築様式など、あらゆる知識が必要になる」と説く。

同機構によると、森の名手・名人の称号は、森の恵みを生かす仕事を20年以上続け、優秀な技術を持つ50歳以上の人に贈られる。本年度は全国11人、県内では徳岡さん1人が選ばれた。

徳岡さんは日影館高の再建、尾道市の浄土堂業後の1978年、又美さん(84)に師事し宮大工の道を歩み始めた。これまで、廿日市宮島町の不消堂火堂

の再建、尾道市の浄土堂業後の1978年、又美さん(84)に師事し宮大工の道を歩み始めた。これまで、廿日市宮島町の不消堂火堂

高宮神楽まつり  
 7団体8日共演  
 高宮神楽まつりが8日午後5時から、安芸高田市高宮町の高宮ハート広場である。同町の神楽団を中心

部を作り出す「規矩術」の名手。技術は「見えて盗む」世界で習得に15年以上かかったが、「大工技術の習得はスタートライン。よ

その建築をコピーできないので、日々研究だ」と話す。  
 1級建築士の資格も取得。学術的な知識を持つて設計ができる県